

来賓祝辞**

高久史磨*^{1) 2)}

本日ここに、「日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立175周年記念式典」が天皇・皇后両陛下の御臨席のもとに開催されますことを心からお祝い申し上げたいと思います。日本医学会を代表致しまして、一言お祝いの言葉を申し述べます。順天堂は、江戸後期から明治初頭にかけて、日本の近代西洋医学導入に大きな役割を果たしてこられました。学祖・佐藤泰然先生は天保9(1838)年、江戸薬研堀にオランダ医学塾を開塾され、江戸から佐倉、そして東京へと医学塾を移されつつ多くの俊英を育成されました。その方々が、その後の日本の医学の発展に大きく貢献されたことは皆様方、御存じのとおりであります。

特に、順天堂第二代堂主の佐藤尚中先生は、大学東校(現東京大学医学部)の初代校長を務め、第三代堂主の佐藤進先生は、東京大学医学部附属第一医院・第二医院の院長を兼務されていたということでもあります。そして順天堂は、現在もなお全国国公立医科系大学の一つとして、医学・医療、そしてスポーツ健康科学の各分野において、リーダーシップを発揮されている方々を数多く輩出されておられます。

さて、日本医学会について申し上げますと、日本医学会には日本医史学会、内科学会、外科学会、眼科学会、皮膚科学会など122に及ぶ分科会が所属しております。その分科会が連合して4年に一度「日

本医学会総会」を開催しています。3年前の平成23(2011)年に、第28回日本医学会総会が東京で開催(会頭:矢崎義雄先生,副会頭:小川秀興先生ら,準備委員長:永井良三先生)されました。その中の特別企画展として「医学教育史展~歴史でみる・日本の医師のつくり方~」が、日本医学会総会事務局と日本医史学会とが協力して、平成23(2011)年2月から4月に上野・国立科学博物館において開催され、大変好評でした。その展示を順天堂大学において更に充実させて再現・保存し、日本医学教育歴史館として開館されますことは、日本の医学会にとりましても大変喜ばしいことでもあります。

また、医学会総会開催を記念して、日本発の「国際スポーツロジー学会」を順天堂大学の、この有山登記念館講堂、そしてセンチュリータワーから世界へ発信されました。私もこれに出席し、発会の祝辞を述べさせて戴きました。スポーツと医学が協調・連携して進めていくこの科学分野は、今後益々発展していくと期待しています。この度、順天堂が175周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。今後も順天堂大学が、医学・医療、スポーツ健康科学の研究・教育等において日本のみならず、世界の未来のために貢献し続けて戴くことを祈念致しまして、私の祝辞と致します。本日は誠にありがとうございます。

* 1) 日本医学会会長

* 2) 前医学教育振興財団理事長

** 日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立175周年記念式典
於: 有山登記念館講堂及びセンチュリータワー [Apr. 10, 2014]
[Apr. 25, 2014 原稿受領]